

北海道開発局は、「わが村は美しく－北海道」運動の取組の一環として、農山漁村が有する地域資源としての「景観」について、次代を担う若い世代に理解を深めてもらうことが、北海道の発展のために非常に重要であるとの考えのもと、岩見沢農業高等学校にて景観ワークショップを開催しました。

2年生30名が参加し、空知らしい景観の写真を題材にして、地域の特長や歴史などの情報も含め、農村景観の魅力や課題について、意見交換や発表を行いました。

令和4年度景観ワークショップ

■ 日 時 令和4年11月30日（水）・12月7日（水）両日5・6時限目

■ 講 師 NPO法人 わが村は美しく－北海道ネットワーク 中井 和子理事長

岩見沢農業事務所が開催している教育支援交流の時間を使用して、景観ワークショップを開催しました。



▲ 「魅力ある農業・農村景観を考える」と題して、中井理事長よりご講義いただきました。

▲ 班に分かれ、ワークショップを行う様子

▶ 班ごとに選択した写真や理由等を発表する様子

ワークショップ後のアンケートでは、「今回のように、自分の住む地域を客観的に、別の視点から視ることによって、“景色は変わる”ということに気づけた」、「自分が何気なく参加している行事や景色が、一つ一つ理由や魅力があることに気づいた」など、新たな気付きにつながったコメントをいただき、活動の意義を改めて感じると共に、参加してくれた高校生の今後の活躍に期待が膨らみました！